

『トーヨーバイオメタンガス発電所』稼働状況のお知らせ

2019年3月28日に竣工式を執りおこないました『トーヨーバイオメタンガス発電所』は、この度、原料受入れを開始し、メタン発酵を順調に開始し発電いたしました。使用しているバイオガスエンジンも最大出力1426kWhでの運転作動確認が終了し、順調に稼働しております。なお、5月下旬には関西電力へ売電を開始しております。

本事業は、国家戦略特区である兵庫県養父市にてトーヨーグループがバイオメタンガス発電所を建設・運営のみならず、原料となる食品残渣や家畜ふん尿を回収・運搬からおこなっております。回収した原料をメタン発酵させ、発生したメタンガスにより発電をおこないます。発電の過程で生成される副産物である消化液は良質で安価な有機質肥料として同地域で作る特別栽培米や野菜にも使用します。

本プラントが本格稼働することにより、地域の環境負荷の低減、家畜ふん尿処理問題の解決、地元農業への貢献などのシナジーを生み出し、エネルギーの地産地消モデルとなります。



トーヨーバイオメタンガス発電所内部 2019年6月撮影